平成24年度教育研究調査事業
『発達の段階に応じたキャリア教育の在り方に関する研究』　報告書　№.２

互いに認め合ったり協力し合ったりすることができる子の育成

ー体験的学習の中でコミュニケーション能力を高める工夫を取り入れてー

東浦町立生路（いくじ）小学校　教諭　松山幸代

１　はじめに

近年，少子高齢社会の到来，雇用の多様化・流動化が進む中，子どもたちの進路をめぐる社会環境は大きく変動している。また，教育を取り巻く環境も大きく変化している。そして，若者の勤労観，職業観の未成熟や，社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質・能力の不十分さなどについて各方面から指摘されている。このような現状の中，生きるための基礎能力を育成し，人生の設計能力を育んでいくための施策として，文部科学省から「キャリア教育」推進の指針が示された。

平成23年１月の中央教育審議会の答申では，社会的・職業的自立に必要な能力として，基調提案p.3**【資料４】**に示す４つの能力が挙げられ重要視されている（※以下４能力と表現する）。

キャリア教育の視点から見直すと，小学校の教育活動には，生き方の指導や勤労観，職業観の育成等に関わる内容が多く含まれている。本校の教育目標の一つである「主体的に学び，考え，行動できる力」や現職教育の重点課題である「コミュニケーション能力」を教育活動全体の中で育成することは，キャリア教育の目標とも合致する。したがって，各教科等においてキャリア教育の視点を明らかにすることによって，授業の中で進路発達に関わる力を育てることができると考えた。

本研究では，児童の発達の段階を考慮したキャリア教育の在り方を探っていく。平成23年度は小学校２年生の生活科で実践を行った。教材・教具を効果的に活用することで，低学年でも働く人々について自分なりの考えをもつことができた。しかし，日常生活における自己の役割や自分も地域の一員であるという自覚をもつところまでは至らず，課題が残った。そこで，平成24年度は小学校４年生社会科に焦点を当て，小グループによる関わり合いの場を多く設定することで，日常生活における自己の役割意識を高め，よりよい生き方を考えるようにした。

２　研究の仮説

地域の人々や児童同士の関わり合いの中で，よりよい生き方や在り方を考えさせたいと思い，次のような仮説を立て検証することにした。

(1) 児童同士や地域の人々との関わり合いの仕方を工夫することによって，他者の思いを尊重して自分の考えを深めるようになり，児童の人間関係形成・社会形成能力を高めることができるだろう。
(2) 人の役に立つことの必要性を児童が実感できる学習活動を意図的に組むことにより，発達の段階に応じて働くことの意義を理解することができ，自己の果たすべき役割ついての認識を高めることができるだろう。

３　実践の方法

研究の仮説を検証するため，以下の方法で実践を行うことにした。

(1) 関わり合いの仕方に関する工夫の手だて

ア　児童の実態に合わせた児童同士の関わり合いの場や，地域の人との関わり合いの場を設定する。

(ｱ) 児童の実態に合わせて小グループによる関わり合いの場を設定する。…手だてＡ

(ｲ) 地域の人との関わり合いの場を設定する。…手だてＢ

イ　人に伝える際の支援の仕方を工夫する。

(ｱ) 発表する順番を事前に決めておいたり，話型を示したりする。また，さまざまな発表の方法について示す。…手だてＣ

(ｲ) 教材・教具を用いることで，自分の思いを確かなものにさせる。…手だてＤ

ウ　話を聞く際の支援の仕方を工夫する。

(ｱ) ワークシートにメモ欄を設けて，調べて分かったことを書かせたり，次の活動内容を事前に知らせたりして，目的意識をもって教師の話を聞かせる。…手だてＥ

(2) 人の役に立つことの必要性を実感できる授業，活動を意図的に組むための手だて

ア　地域における仕事が全て人の役に立っていることが伝わるような活動を考える。また，この活動から気付いた点を出し合い，人の役に立つことの必要性に迫る授業や活動の計画を立てる。…手だてＦ

イ　働くことの意義や多様な役割を理解させるため，地域との連携を図る。…手だてＧ

ウ　社会参画することで地域における自己の役割に気付かせ存在意識を高める。…手だてＨ

(3) 振り返り仕方に関する工夫の手だて

ア　活動後の振り返りプリントを工夫する。

(ｱ) 人間関係形成能力とキャリアプランニング能力を意識した振り返りプリントを工夫する。…手だてＩ

イ　３段階の自己評価をする。

(ｱ) 金，銀，銅のシールから選ばせて自己評価させる。…手だてＪ

(4) 指導案作成の工夫

ア　生活科や社会科の評価項目は指導上の留意事項の欄に明朝体で示す。…手だてＫ

イ　キャリア教育に関わる評価項目は指導上の留意事項の欄にゴシック体で示す。…手だてＬ

４　平成23年度の取組

(1) 学級の実態（２年生，33名）

本学級は低学年の児童らしく元気で，授業中積極的に手を挙げる児童が多い。この年代の特徴でもあるが，周りのことを考えず自分勝手な行動をし，けんかになることもある。また，グループ活動になると，人任せにしたり，話し合いに参加できなかったり，自信がなく自分の思ったことを発表することができなかったりする児童もいる。

生活科では，１学期に「春の町探検をしよう」という単元で地域の施設の見学をした。その学習の中で，地域の施設を利用している児童が教師の予想より少なく，公共施設等の利用を通して地域の人々と関わりをもつ機会が少ないことが明らかとなった。

そこで，友達と一緒に活動し，グループによる施設探検に出かけ地域の人々との関わりを深める活動をする中で，お互いを認め合ったり，協力し合ったりすることができるようになってほしいと願った。

(2) 実践内容

ア　単元　　生活科２年「町で見つけたよ」(11時間完了)

イ　単元設定の理由

本単元では，自分たちの生活は地域の人々やさまざまな場所と関わっていることに気付き，町への親しみを深め，自分の生活を広げることをねらいとしている。そして，友達と一緒に活動する中で，お互いの考えを認め合い，協力し合うことができるようになってほしい。また，周りの人たちとの関わりの中で，よりよい生き方や在り方について気付かせたい。

ウ　単元の目標

(ｱ) 春の町探検や夏休みの町研究の体験を基に，町の中のいろいろな施設・設備やそこで働いている人々に関心をもち，意欲的に調べ，関わろうとする。

(ｲ) 探検を通して気付いたことや調べたことを自分の得意な方法で表現し，知らせることができる。また，町の中のいろいろな施設・設備の利用の仕方を調べたり，そこで働いている人々との関わりをもったりすることができる。

(ｳ) 町には，自分たちの生活を支え住みよくするための施設・設備があることや，そこで働いている人々がいろいろな工夫をしていることに気付くことができる。

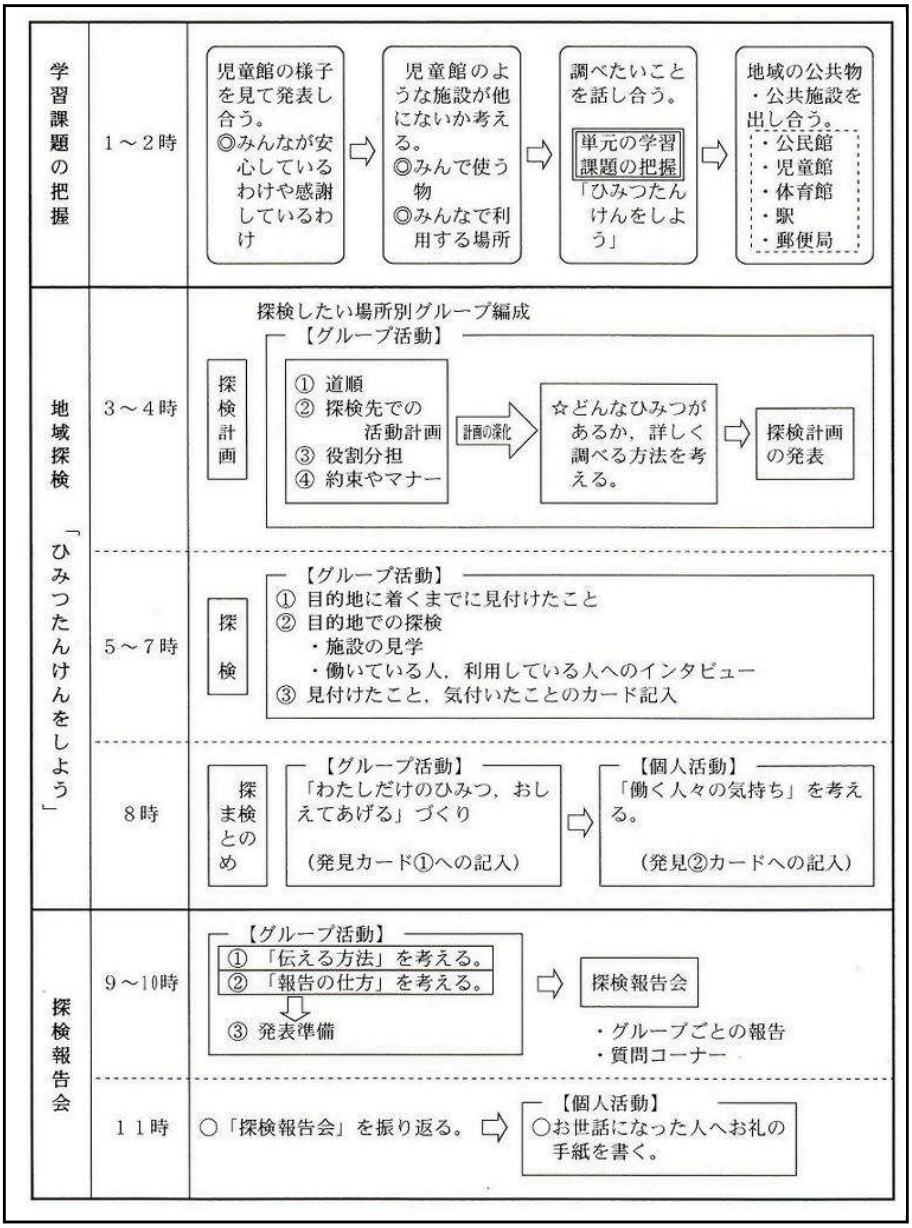
エ　指導の重点

本単元では，「人間関係形成・社会形成能力」及び「キャリアプランニング能力」の育成に焦点を当てた。また，「自己理解・自己管理能力」，「課題対応能力」の育成にも努めた。具体的には以下の通りである。

(ｱ) 初めて知ったことやすごいと思ったことを出し合う活動を通して，友達同士認め合ったり，地域のすばらしさに気付かせたりすることで，「人間関係形成・社会形成能力」を育てるようにした。

(ｲ) 一人一人の思い

【資料１　「町で見つけたよ」単元構想】



やこれまでに調べたことを大切にすることで，意欲的に地域の人から聞き取り，「自己理解・自己管理能力」を育てるようにした。

(ｳ) 低学年児童でも，活動後の振り返りがしやすいように工夫をすることで，「課題対応能力」について育成を図った。また，単元全体を通して地域で働く人々の意義に注目させ，「キャリアプランニング能力」について育成を図った。

オ　単元計画

生路小p.3**【資料１】**のような単元全体の構想を立てた上で，以下のような計画を作成した。

学　習　活　動	留意事項・「キャリア教育」に関わる評価
第１時～第２時　単元の学習課題を把握する。 (1) 児童館の様子をデジタルコンテンツで見て，気付いたことを発表し合う。 ・小さい子が楽しく遊んでいる。 ・お母さんもうれしそう。 ・お母さんにいろいろと教えている人がいる。 ・みんな安心している。	・「ひよこの日」の様子をビデオで視聴させる。…手だてＦ ・職員の声も注意して聞かせる。…手だてＦ ・板書を通して，みんなが安心しているわけや，感謝しているわけについて目を向けさせる。 ・気付いたことをプリントに記録させる。
(2) 生路の町の中で，他に児童館のようにみんなが安心して使える場所はないか考える。 ○写真を見て考える。 ○考えたことを発表し合う。 ○どんなひみつがあるか予想する。	・本単元で扱う「公共物」「公共施設」という言葉を，「みんなで使う物」「みんなで利用する場所」という表現で児童に伝える。 ・写真を提示して発表を促す。 ・考えたことをプリントに記録させる。 ・(1)の児童館の様子を想起させ，願いや工夫などいろいろなひみつがあることに着目させる。
(3) 調べたいことを話し合い，本単元の学習課題をつかむ。 ひみつ探検をしよう！！	
(4) 地域にある公共物や公共施設を想起し，出し合う。 ・公民館　・児童館　・体育館 ・駅　・郵便局　など	・公共物の概念を確認しておく。 ・特に自分の生活と関わりの深い公共施設で働いていた人，催し物などで指導してくれた人などに目を向けさせるようにする。…手だてＢ
第３時～第４時　みんなが使う場所を探検する計画を立てる。 (1) 探検したい場所でグループを作る。 (2) グループごとに探検計画を立てる。 ・道順 ・探検先での活動計画	・みんなが使う場所であることを確認し，マナーや礼儀についてもしっかりと考えさせておく。 ・プリントは，グループを作る際の参考にさせる。 ・話し合いをしながら，プリントに記録したり探検マップの行きたいところに印を付けたり

・役割分担 ・約束や探検場所でのマナー　　など (3) どんなひみつがあるか詳しく予想し，調べる方法を考える。 ① 写真を見たり，自分の生活経験を振り返ったりして予想する。 ② ひみつを調べる方法を考える。 ・写真　・インタビュー　・観察 ・グループ内での役割分担 (4) 話し合ったことを「たんけんに行こうカード」に記録する。 (5) グループごとに探検計画を発表する。 ・探検の目的地，探検したい理由 ・探検先での活動計画 ・目的地で会いたい人 (6) 見学のためのお願いの手紙を書く。	するように指示する。 ・「たんけんに行こうカード」（プリント）に吹き出し等を付け，予想したインタビューの答えを記入させる。 ・場所ごとのさまざまな場面の写真を豊富に準備する。 評探検カードの記述から「思考・表現」を評価する。…手だてK **評グループを作ったり，公共物を調べる計画を立てたりする活動を通して，「課題対応能力（計画立案）」を評価する。**…手だてA，L ・他のグループの探検計画を聞き，自分たちの探検の参考にさせる。 ・お願いの手紙を書かせることで，訪問をさせてもらうことを自覚させる。
第５時～第７時　計画に従って，探検に行く。 (1) グループごとに探検に出発する。 (2) 目的地に着くまでに見付けたこともメモしておく。 ・目的地への案内表示 ・点字ブロック ・スロープ (3) 目的地を探検する。 ○係の人に挨拶し，説明や注意を聞く。 ○施設を見学する。 ○働いている人や利用している人にインタビューする。 ○一緒に活動させてもらう。 (4) 見付けたことや気付いたことを「まとめカード」に記録する。 ・文で書く。	 ・目的地の建物や施設を見付けるだけでなく，地域の人と関わったり，春の探検では気が付かなかったことを見付けたりする活動も大切にする。 ・見付けた内容は，プリントに記録させる。 ・施設への案内板の工夫や高齢者，体の不自由な人，外国の人への配慮があることに気付かせる。 ・探検での活動の様子を次時に振り返ることができるように，利用した場所や利用している様子をデジタルカメラで撮影させておく。 ・インタビューの内容を，プリントに記録させる。 ・働いている人々や利用している人の様子を観察させ，分かったことをプリントにメモさせる。 ・働く人々の工夫や努力，使う人の願い，公共施設に見られる工夫もプリントにメモさせる。 ・プリントの「ぶんるいシール」の欄には，何も記入しないように指示する。…手だてD

	評プリントの記述から「気付き」を評価する。 …手だてK **評公共施設の仕組みや働く人々の努力や工夫について調べる活動を通して，「人間関係形成・社会形成能力（他者の個性を理解する力）」「課題対応能力（情報の理解・選択・処理）」を評価する。…手だてG，L**
第８時　探検して見付けたことや気付いたことを発表したり，まとめたりする。 〇「わたしだけのひみつ発見，教えてあげる」をグループごとに行う。 〇働く人々の気持ちを考え，「はっけんカード２」に書く。	・探検して見付けたことを「まとめカード」に分かりやすく整理させる。　…手だてE ・「はっけんカード１」に友達に教えてあげたいひみつを書き，自分の思いや考えも書かせる。…手だてD 評「はっけんカード１・２」の記述から「気付き」を評価する。…手だてK **評調べて分かったことや働く人々の気持ちについて考えたことをまとめる活動を通して，「キャリアプランニング（学ぶこと・働くことの意義や役割の理解）」「人間関係形成・社会形成能力（他者の個性を理解する力）」「自己理解・自己管理能力（前向きに考える力）」を評価する。…手だてG，I，L**
第９時　探検報告会の準備をする。 (1) 前時の学習の振り返りをする。 (2) グループで探検して分かったことや知らせたいことを，みんなに伝える方法を考える。 ・絵や写真で説明する。 ・学んできたことを劇にしたり，ごっこ遊びにしたりして知らせる。 (3) グループごとに報告の仕方を練習する。 〇役割分担をする。 〇話す練習をする。	・前時に児童が書いた「働く人々の気持ち」の中で，全児童に注目させたい内容を，名前を伏せて紹介する。 ・みんなに分かりやすく伝えるように工夫させる。 ・分かりやすく伝えるための具体的な方法を考えさせる。 **評探検報告会の練習の様子から，「人間関係形成・社会形成能力（チームワーク）」を評価する。…手だてA，L**
第10時　探検報告会をする。 (1) グループごとに報告する。 (2) 質問する。	・聞く人を意識させ，声の大きさ，立つ位置等にも注意させる。 ・質問コーナーを設け，他のグループの発表も興味をもって聞くようにさせる。 評探検報告会の練習の様子，発表内容から「思

	考・表現」を評価する。…手だてC，K
第11時　探検報告会を聞いた感想を話し合い，お世話になった人にお礼の手紙を書く。 (1) 報告会を聞いて思ったことや考えたことを発表し，お世話になった人やわたしたちの町への思いをもつ。 ・今まで知らなかった施設や設備 ・働いている人の願いや努力，工夫 ・自分たちの町のよさ (2) お世話になった人へお礼の手紙を書く。 ・大変な仕事だけど，みんなのためにがんばってほしい。 ・次に利用するとき，調理室を使ってみたい。 ・将来，あなたのようになりたい。 (3) 学習の振り返りをする。	・探検活動を振り返り，お世話になった人に手紙を書くことで，このような人たちに支えられて生活していることに気付かせる。 ・報告会を振り返ることで，町にはいろいろな施設があり，多くの人たちが関わりをもってくらしていることや，自分たちのためにがんばって働いてくれている人がいること，町の中には障害のある人や高齢者のくらしのための工夫があることに気付かせる。 評発表の様子，内容から「気付き」を評価する。 ・手紙を書くことで，その人のよさやこのような人たちに支えられて生活していることを再認識できる。…手だてF，K 評絵や文にまとめた手紙の内容から「思考・表現」を評価する。…手だてK **評手紙を書く活動を通して働く人々の気持ちを考えたり，今までの自分を振り返ったりする中で，「人間関係形成・社会形成能力（他者の個性を理解する力）（他者に働きかける力）」「自己理解・自己管理能力（前向きに考える力）」「キャリアプランニング能力（学ぶこと・働くことの意義や役割の理解）」を評価する。**　…手だてJ，H，L

(3) 実践の実際と考察

ア　関わり合いの仕方に関する工夫の手だて

(ｱ) 児童の実態に合わせた児童同士の関わり合いの場を設定する。…手だてA

生路児童館，生路公民館，東浦町体育館，生路郵便局，ＪＲ東浦駅（全て校区にある施設）の中から興味・関心別のグループをつくり，探検に行く計画を立てた。各グループ６～７人で構成した。グループ編成の際には，リーダーとして学習を主導していけそうな児童を意図的に配置した。リーダーを中心に，班員で協力しながらインタビュー内容や，調査項目を相談して決めたことで，探検では計画に従って自信をもってインタビューしたり，見学したりしていた。

【資料２　発表の様子】

また，第８時に行った「わたしのひみつ発見，おしえてあげる」では，違う場所に探検に行った児童同士５～６人でグループを構成し，それぞれの場所で見付けてきたひみつを発表し合った。探検に行っていない場所のひみつ発表を聞くことができるので，問題意識をもって友達の発表を聞き，働く人々の気持ちを考える活動につながった**【資料２】**。

(ｲ) 地域の人との関わり合いの場の設定…手だてＢ

実際に見学した施設を利用したことがある児童も多く，あまり抵抗感なく地域で働く人々と話すことができた。また，探検に行く途中で会った地域の方に，進んで元気よく挨拶する姿が見られた【資料３】。普段，自分から挨拶ができない児童Ａも，元気よく挨拶ができた。振り返りでは，挨拶は気持ちがよいと書いていた【資料４】。

児童Ａ･･･地域の行事にはほとんど参加したことがなく、人とコミュニケーションをとることが苦手である。

【資料３　地域の人との写真】

【資料４　児童Ａの振り返り】

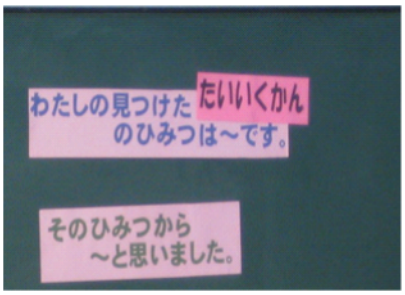
地域の人と挨拶ができて気持ちがよかった。これからも挨拶をしたい。

(ｳ) 人に伝える際の支援の仕方を工夫する。

…手だてＣ，Ｄ

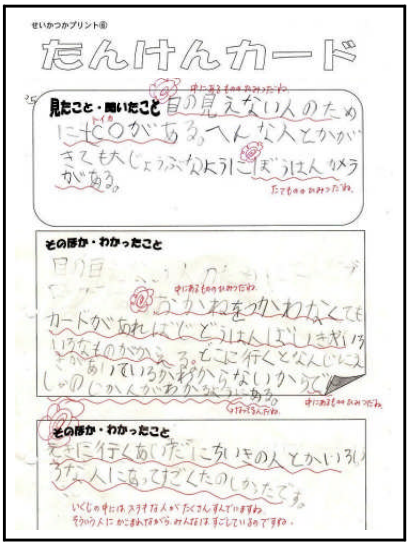
グループで発表する際，誰から発表するか，どのように発表するかが分からなくてとまどったり，積極的に話し合いができなかったりすることがあった。そこで，事前の支援として発表する順番をあらかじめ決めておいたり，話型【資料５】を示したりした。その結果，スムーズに話し合いをすることができた。また，調べたことに付箋を貼って整理させることで，自分の考えも確かなものになり，見付けてきたひみつを自信をもって友達に伝えることができていた【資料６】。

【資料５　発表する際の話型】



【資料６　付箋を使って整理】

【資料７　メモ用ワークシート】



(ｴ) 話を聞く際の支援の仕方を工夫する。…手だてＥ

２年生の児童にとって，メモを取りながら話を聞くという活動は難しいことである。しかし，探検に行った先で聞いてきたことをメモしてくることは，事後の活動には必要不可欠である。そこで，事前にインタビューの答えを予想させたり，メモを取りやすくするためのワークシートを工夫したりした【資料７】。それによって，２年生の児童でも聞いたことをメモしてくることが比較的容易にできた。また，第８時の導入で行った「先生が見付けてきたひみつ発見」では，「後で，先生が見付けてきたひみつを発表してもらうからよく見て聞いてね」と，後で実施する内容について事前に知らせることで，目的意識をもって話を聞くことができた【資料８】。

【資料８　話を聞く様子】

イ　人の役に立つことの必要性を実感できる授業，活動を意図的に組むための手だて

(ｱ) 地域における仕事が全て人の役に立っていることが伝わるような活動を考える。…手だてＦ

第１時に，児童館で働く人々に焦点を当てたデジタルコンテンツを作って見せたことで，児童館で何気なく遊んでいる遊具も児童館で働いている人が工夫して作ってくれたものであることに気付くことができた（生路小p. 9【資料９】）。また，他の施設でも同

じようなひみつがあるのではないかと予想することができた。

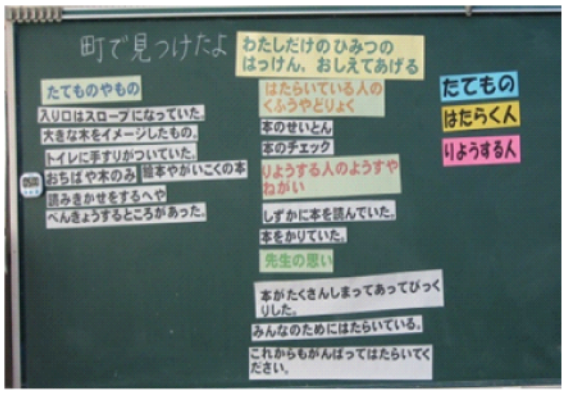
さらに，児童館での様子を役割演技で表現させながら考えることで，児童館の職員は常に利用している人のことを考えていることに気付くことができ，第８時の活動につながった。

【資料９　デジタルコンテンツ】

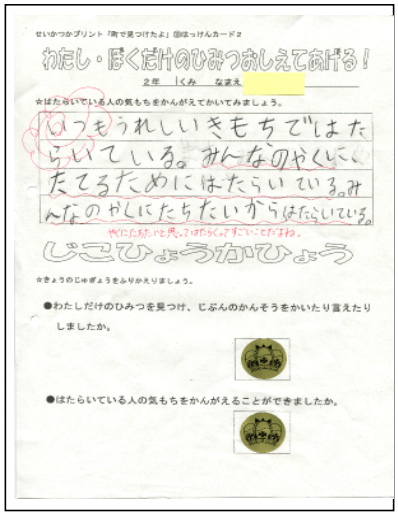
【資料10　役割演技】

また，役割演技を通して，児童は将来の社会参画に向けた意識を高めることができた【資料10】。

【資料11　ひみつを見付けた場面】



【資料12　ワークシート】



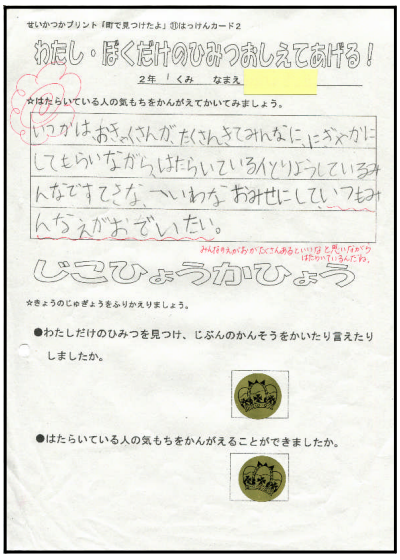
第８時では，「先生が見付けた図書館のひみつ発見」のデジタルコンテンツを見せ，教師が見付けたひみつは何かを考えたり【資料11】，探検から帰ってきてから働く人々の気持ちを考える活動をしたりした。児童は，働く場所が違っていても，働いている人のことについて，「お客さんが喜んでくれるために働いている」「使う人の役に立ちたいと思って働いている」などの点に気付くことができた。また，「これから大切に使っていきたい」「自分もそこで働きたい」などの気持ちをもつこともできた【資料12】。

(ｲ) 働くことの意義や多様な役割を理解させるため，地域との連携を図る。…手だてＧ，Ｈ

【資料13　評価の規準】

金･･･あてはまる
銀･･･少しあてはまる
銅･･･あてはまらない

【資料14　ワークシート】



校区の徒歩圏内へ探検することは，児童にとって親しみやすく，そこで働く人々との交流を通して，働くことの意義をつかみやすいと考えた。振り返りプリントの「働いている人々の気持ちを考えることができましたか」という項目において，金のシールを貼った児童は約５割だったが，金と銀を合わせると，約８割の児童がいた【資料13, 14】。地域でよりよく生きていこうという気持ちが高まったようだ。

ウ　振り返りの仕方に関する手だて

(ｱ) 人間関係形成能力とキャリアプランニング能力を意識した振り返りプリントを工夫する。…手だてＩ

今まであまり人とコミュニケーションをとろうとしなかった児童Ａであったが，多くの人々に支えられて生活していることに気付くことができた【資料15】。

【資料15　児童Ａの振り返り】

じどうかんの先生は、ぼくたちのために働いてくれている。これから、 じどうかんにあそびにいくようにしたいです。

(ｲ) ３段階の自己評価を取

り入れた振り返りプリントを工夫する。…手だてＪ

２年生の児童にも評価しやすいように，金・銀・銅のシールの中から選んで評価させるようにした。「わたしだけのひみつを見付け，自分の感想を書いたり言えたりしましたか」の項目では，約８割の児童が金のシールを貼ることができた。２年生なりに自分を意識し，自己表現していたことがうかがえる。

【資料16　探検報告会の様子】

(4) 平成23年度の成果と課題

ア　成果

(ｱ) 人間関係形成・社会形成能力

事前にインタビューやその答えを予想することで，探検では自信をもって地域の人々とコミュニケーションを図ることができた。また，児童の実態や活動によってグループ構成を工夫することで，リーダーシップを発揮し，みんなで協力することができた**【資料16】**。さらに，グループで発表する場を設定することで，普段積極的に発表しない児童の考えを他の児童も聞くことができ，自分の考えに生かそうとしていた。このことと「H23職員アンケート」①（生路小p. 11**【資料18】**）の結果から，人と積極的に関わろうとする児童の姿勢，つまり「人間関係形成・社会形成能力」が高まりつつあることが分かる。

(ｲ) キャリアプランニング能力

さまざまな実践後に振り返ることで，自分の気持ちをたくさん書き，表現できるようになってきた。このことと「H23職員アンケート」②（生路小p. 11**【資料18】**）の結果から，自分を見つめ直し，行動の改善につながる力つまり「キャリアプランニング能力」が高まりつつあることが分かる。

また，デジタルコンテンツを使って，これから行く探検の目的をつかませたり，教師が見付けてきたひみつを客観的に見たりすることで，働く人々は，人の役に立ちたいと思って働いていることに気付くことができた。さらに，単元の最後で，探検でお世話になった施設の方に手紙を書いた**【資料17】**。その中で，「大きくなったら，郵便局の方のようになりたい 」「これから施設を大切に使っていきたい」という感想をもつことができた。これらのことと「H23職員アンケート」③，④(生路小p. 11**【資料18】**)から，働くことの意義を理解することができ，自己の果たすべき役割についての認識が高まりつつあり，「キャリアプランニング能力」が育ちつつあることが分かる。

【資料17　施設の方への手紙】

イ　課題

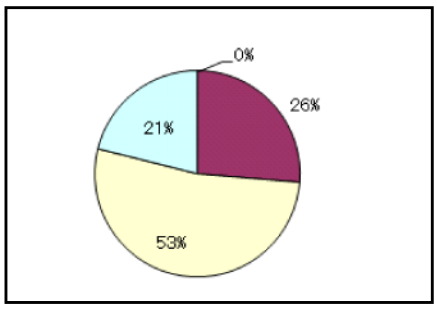
・相手を意識した話し方や聞き方等の工夫を意識付けられるようにしていきたい。
・課題意識をもって活動に取り組む児童がいた一方で，自分の課題をなかなか見付けることができない児童もいた。自分たちの生活を振り返る場面をさらに充実させていくことで，課題を見付けやすくなり，課題意識を明確にもつことができると考える。
・児童の活動における時間差をどのように埋めていくかが課題である。考える時間が長すぎると，考えが固まってしまった児童は，そこから時間をもて余してしまい，思いが薄れていったように思えた。逆に，考える時間が短すぎると，じっくり考える児童は焦ってしまい，周りの児童のまねをしたり，中途半端な状態で集団解決に入ってしまったりすることがあった。
・各学年の発達の段階に応じた年間指導計画（キャリアカレンダー）を作成したが，実践を進めていくうちに，もう少し細かい目標が必要であることに気付いた。本校に合った年間指導計画を再度検

討し，よりよいものにしていきたい。

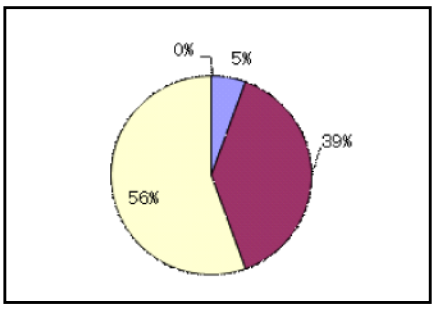
【資料18 「H23職員アンケート」結果】

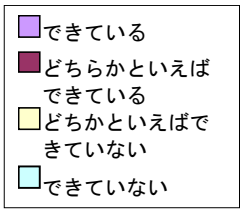
① 他に配慮しながら自分の考えを伝えている。

＜６月＞



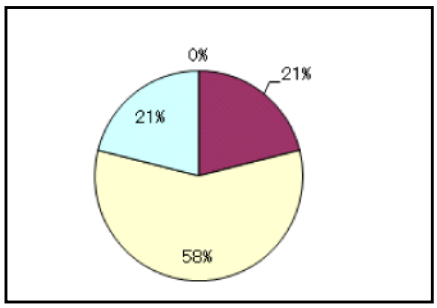
＜１月＞



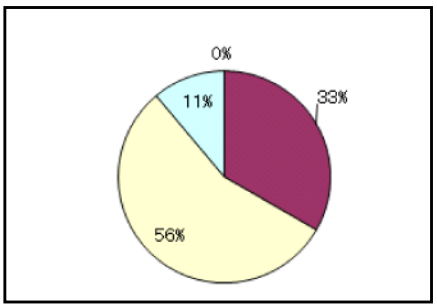


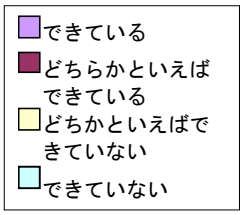
② 課題解決に向けた計画及び活動を，必要に応じて改善している。

＜６月＞



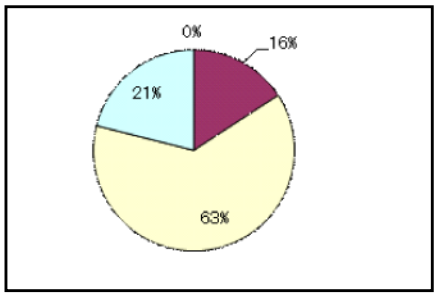
＜１月＞



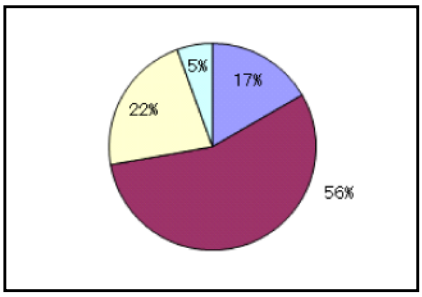


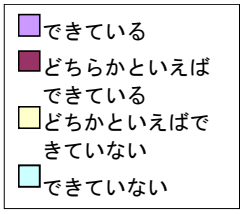
③ 働くことの意義や役割について理解している。

＜６月＞



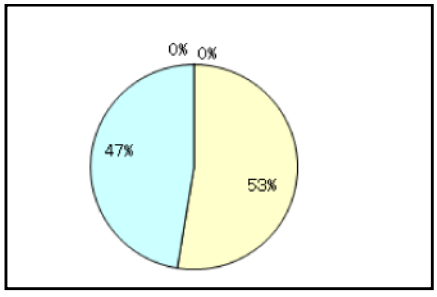
＜１月＞



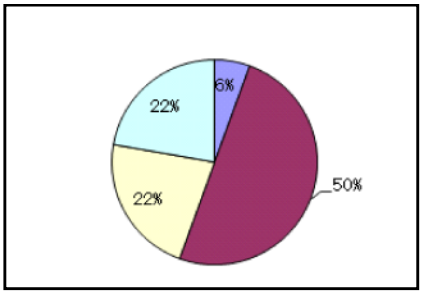


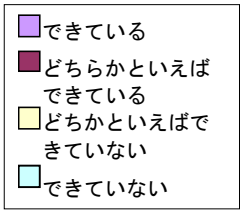
④ 自分の生活と将来の生き方との関連を理解している。

＜６月＞



＜１月＞





５　平成24年度の取組

(1) 学級の実態（４年生，32名）

毎日の生活の問題であるにもかかわらず，本学級の児童のごみに対する関心はあまり高くない。ごみに関する社会問題やごみをめぐる社会の仕組みについても，児童は何となく想像できる程度の認識である。まして，ごみの処理に関与して働いている人々の工夫や努力にまでは気付いていない。しかし，これまでの社会科学習において，自らの生活を社会の仕組みの中で高めようとする意欲の芽生えは見られる。本単元の学習を通して，社会のために働く人々に共感させ，自らも社会参画しようとする意欲を高めていきたい。

(2) 実践の内容

ア　単元　　社会科４年「ごみのゆくえ」(12時間完了)

イ　単元設定の理由

本単元では，まずごみ処理に関わる資料を読み取ることによって，廃棄物が計画的に処理されていることに気付かせたい。見学活動を行うことによって，廃棄物の処理に関わる人々や自治体の努力や工夫にも着目させる。さらに，ごみ処理の方法や分別の仕組みを理解した上で生活の現状を見つめ，今後の自分たちの生き方を考えたり，果たすべき役割を遂行したりすることができるようにしていきたい。

ウ　単元の目標

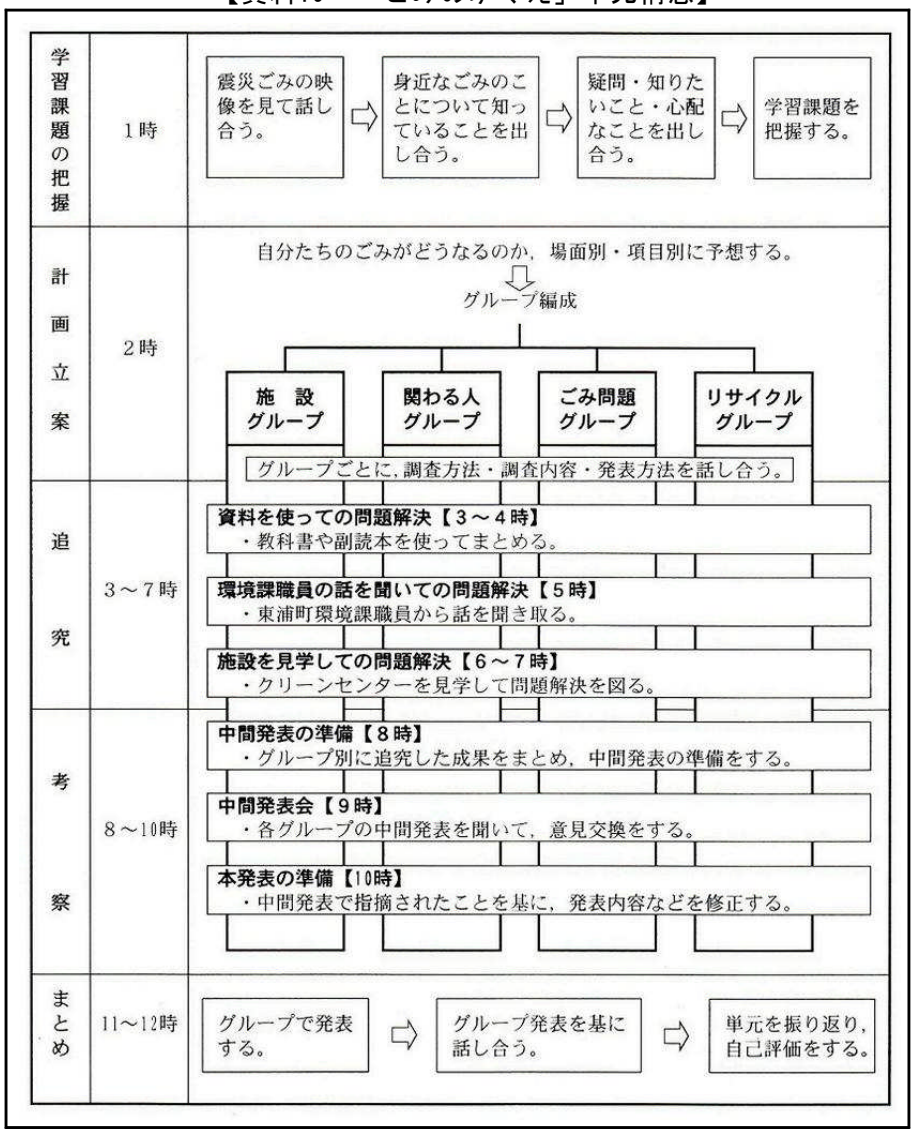
(ｱ) 自分の出したごみはどうなるのか，身近な疑問からごみ処理に関心をもち，進んで地域の一員として考えたり協力したりする。

(ｲ) ごみ処理に関わる人々の工夫や努力について，自分の生活と関連付けて考える。

(ｳ) ごみ処理について学習して分かったことを工夫して表現し，問題を解決する。

(ｴ) 地域の協力を得てごみ処理が計画的に進められていることを理解する。

【資料19　「ごみのゆくえ」単元構想】



エ　指導の重点

社会科学習として事実認識に基づいた合理的な価値判断や意志決定ができるように，話し合いの場面で意図的な資料提示や助言をし，「課題対応能力」を育てたい。興味・関心別グループで問題解決しながら，自分たちにできることを考えたり，実践しようとする意識をもたせたりし，「人間関係形成・社会形成能力」を育てたい。中間発表後の話し合いを通して，みんなのために働く人々への共感的理解を高めていく。また，社会にはさまざまな立場の人がいること，そして，立場が違うと願いや思いも変わってくるという多様な見方や考え方を意識させ，発表内容や社会参画を考えさせることで「自己理解・自己管理能力」を育てたい。また，平成23年度の２年生では，社会参画の芽生えにとどまっていたが，本実践においては，社会参画の充実へと向かわせることで「キャリアプランニング能力」を育てたい。

オ　単元計画

生路小p.12**【資料19】**のような単元全体の構想を立てた上で，以下のような計画を作成した。以下の「○」を児童の学習活動，「・」を予想される児童の反応または調査内容，「●」を予想される関わる人の願いや工夫・努力，「★」を指導上の留意事項とする。

学　習　活　動	留意事項・「キャリア教育」に関わる評価
第１時　ごみ処理の問題を知り，単元の学習問題をつかむ。 (1)　震災ごみの映像を見て，感想や気付いたことを発表し合う。 ・大変だな ・どうやって，どこに片付けるのかな ・臭いかな，ハエや蚊もわくよね ・片付ける人は本当に大変だね ・自分の近くにあったらいやだな (2)　自分の身近なごみのことについて知っていることを出し合う。 ・事前学習による「家のごみの種類や量」 ・ごみの分別 ・ごみステーションや処理を巡る苦情 ・ごみ処理に関わる人や施設 (3)　ごみ処理の問題について，疑問や知りたいことや心配なこと等を話し合い，本時の学習問題をつくる。 ・ごみの最後はどうなるか ・処理する人の願いや工夫，努力 ・わたしたちの願いや工夫，努力 ・埋め立て地はいつまでもつのか ・健康や環境への影響はどうか	★映像資料や家庭ごみの種類調査資料等から，ごみ問題を身近な問題として捉え，解決しようとする意欲を高める。 ★最近話題になっている震災ごみを取り上げ，膨大なごみの映像からごみ問題の解決が難しいことを感情的に感じ取らせる。 ★多様な感想や意見を発表させ，ごみ問題の広さや深さを感じさせる。 ★板書により，感想や意見の中で，自分の身近な問題とも共通することを意識させる。 ★身近なところにもごみ問題が存在することに気付かせる。 ★解決しなければならないさまざまな問題があることに気付かせる。 ★事前に，家のごみの種類や量をワークシートへ記入させたり，ごみに関わることを家の人にたずねたりするように指示する。 ★ごみステーションやごみ処理場，埋め立て地などの写真を適宜見せて，より身近な問題として捉えさせる。 ★ごみ処理について，多角的に話し合わせることで単元を貫く学習問題をつくる。 ★キーワードは固定的とせず，話し合いの流れから子どもの思考に合ったものとする。 ★次時には，学習問題の解決策の予想を立てる

どこで　どうなる　わたしたちのごみ	ことを予告する。そのことで，ごみ問題を自主的に調べようとする意欲を高める。 評**ごみ問題について興味・関心をもち，自分で課題を見付ける活動を通して，「課題対応能力（課題発見）」を評価する。** …手だてＡ，Ｂ，Ｌ
第２時　単元の学習計画を立てる。 (1)　自分たちのごみがどこでどうなるのか予想する。 ・場面別，項目別に予想する。 【場面】 ①　庭～ごみステーション ②　ごみステーション～処理工場 ③　処理工場の中 ④　処理工場～埋め立て地など 【項目別グループ】 ①　施設グループ ②　関わる人グループ ③　ごみ問題グループ ④　リサイクルグループ ≪各グループ共通項目≫ 関わる人の願いや工夫・努力 (2)　予想を確かめる方法について話し合う。 ・本で調べる ・インタビューする ・見学に行く (3)　観点別のグループになって，場面別に調査内容や方法，調べたことの表現方法について話し合う。 ・本で調べる　・インタビューする ・聞き取り調査する　・観察する ・寸劇をする　・提案をする ・見学する　・クイズにする ・ポスターセッションをする ・ごみ処理カルタを作る ・ごみ物語を作る　など (4)　グループの話し合いで決まったことを発表し合い，学習計画を練り上げる。 (5)　次時の学習予告を聞く。	★問題解決のための方法について考えさせ，単元の学習に見通しをもたせる。 ★場面別に現場写真を提示して，イメージをもって予想できるように支援する。 ★処理工場の中や埋め立て地など，普段子どもの生活エリアにない場面については，場所や様子などがイメージしやすいように特に配慮する。 ★リサイクルの場面など，場所が特定できないものについては④に含める。 ★場面別に予想した問題の解決方法を考えるように指示する。 ★次時から自分の興味のある【項目】観点別のグループになって学習することを指示する。 ★人の願いや工夫，努力の項目は各グループ共通の課題とする。 ★問題解決後の表現方法や社会参画についても話し合わせる。 ★単元の学習終了までの時間配分について知らせる。 ★東浦町環境課職員から話を直接聞けること，クリーンセンターに見学に出かけることを告げておく。 評**自分の興味のある項目グループになり，自分たちで課題を見付けて活動することを通して，「課題対応能力（課題発見）」を評価する。** …手だてＡ，Ｃ，Ｅ，Ｉ，Ｌ

第３時～第４時　資料を使って問題の解決をする。 (1)　教科書や副読本で調べる。			
施設グループ ・ごみステーションのいろいろな形態 ・収集車の特徴 ・ごみ処理工場の施設 ・設備の工夫や問題 ・埋め立て地の問題 ●ごみステーションをきれいに使ってほしい。 ●ごみ処理工場が近くにあると心配だな。 ●もう限度一杯だから困ったな。 ●どんな気持ちでごみステーションを掃除しているのだろう。	関わる人グループ ・ごみ収集をする人の仕事内容 ・ごみ処理工場で働く人の仕事内容 ・ごみ処理を計画する人仕事内容 ●決まりを守ってごみを出してほしい。 ●自分の町だけでは処理できないことを分かってほしい。 ●安全や安心に関わる働く人々は，どんな工夫や努力をしているのだろう。	ごみ問題グループ ・広域処理の仕組み ・環境問題とごみ処理 ・私たちのくらし方とごみの問題 ・ごみ処理施設は迷惑な施設か ●不便になるのも汚くなるのもいやだけど近くにごみ処理場ができるのもいや。 ●私たちのくらしを変えることでごみを減らすことができるかもしれない。	リサイクルグループ ・リサイクルの仕組みと種類 ・東浦町の資源回収の仕組み ●もっとリサイクルを進めたい。 ●資源回収のルールを守ってほしい。 ●資源回収のルールは面倒。もっと簡単にならないのか。 ●日本は資源が少ないから，リサイクルはとても大切である。
★施設や設備に見られる工夫や努力に着目させる。また，それを支える人々の願いや工夫・努力にも注目させる。 ★心配なことや困ったことも取り上げさせ，聞き取りや見学学習の内容とし，多様な価値観を意識させる。	★ごみ収集やごみ処理に直接関わる人に関心が集中しがちになると思われるので，企画する人や管理する人にも注目させることで，社会の仕組みに目を向けさせ，社会参画への誘いとする。	★立場が変わることで意見が変わることについて，感情的でなく科学的・社会的な根拠をもって判断できるよう支援する。 ★安易な解決策を見付けるのではなく，現実をしっかりと調査し，報告できるよう支援する。	★リサイクルのプラスの面だけでなく，問題点についても触れるようにして物事を多角的に捉えられるよう支援する。 ★安易な社会参画への呼びかけにならないように，雰囲気ではなく根拠をもった思考の結果として判断をさせる。
評グループごとでごみ処理に関わる問題を考え，話し合う中で「人間関係形成・社会形成能力（他者に働きかける力）（コミュニケーションスキル）」を評価する。…手だてＡ，Ｃ，Ｅ，Ｉ，Ｌ			
第５時　東浦町環境課職員の話を聞いて問題を解決する。 (1)　東浦町環境課職員から話を聞き取る。			

施設グループ ○家からごみ処理工場までの施設や設備，ごみ収集車等のことを中心に聞き取る。 ○施設や設備で困っていることやこれからの計画などを聞き取る。	関わる人グループ ○ごみ処理に関わっている人の仕事内容や人数，働き方について聞き取る。 ○働く人が困っていることやこれからの計画などを聞き取る。	ごみ問題グループ ○東浦町のごみ問題について聞き取る。 ○ごみ問題で困っていることや，これからの計画などを聞き取る。	リサイクルグループ ○東浦町のリサイクルについて聞き取る。 ○リサイクルで困っていることや，これからの計画について聞き取る。
★各グループの解決したい質問は，事前に環境課職員に伝えておく。環境課の職員の願いや工夫，努力について直に聞けるよう支援する。本日解決できなかった問題は，クリーンセンター見学で解決するよう支援する。			
(2)　クリーンセンターの見学について確認する。 ○これまでの調査や本時の聞き取りで分かったことを簡単にまとめる。 ○クリーンセンター見学で調査したいことを確認する。 ・手順，分担，調査項目　など ・におい，熱，雰囲気，働く人々の様子　など ○見学時の注意事項を聞く。		★前時までの学習で解決できたこと，今後の学習で解決できそうなことを確認した上で，現場に来たからこそ分かる学習ができるように支援する。 ★五感を使った見学ができるように支援する。 ★目的を明確にして見学に出かけられるよう支援する。 ★環境課職員から危険回避などの注意事項を確認してもらう。	
評東浦町環境課職員から地域のごみ処理に関わる問題を聞くことで，「キャリアプランニング能力（働くことの意義や役割の理解）」「課題対応能力（課題発見）」を評価する。 …手だてＢ，Ｅ，Ｆ，Ｇ，Ｉ，Ｌ			
第６～７時　クリーンセンターを見学して問題を解決する。			
施設グループ ○ごみ焼却施設や不燃ごみ処理施設を中心に見学，調査する。	関わる人グループ ○働いている人の様子や姿，装備などを中心に見学，調査する。	ごみ問題グループ ○今まで調べてきたごみ問題が，処理工場の中でどのように展開しているかを中心に見学，調査する。	リサイクルグループ ○工場の中でどのようにリサイクルが行われているかを中心に見学，調査する。
★それぞれの項目観点別に見学，調査の中心をはっきりさせる。			

★現場で見落としそうな見学のポイントをあらかじめつかんでおき，的確な見学ができるように支援する。
★見学そのものに満足して，見学，調査の目的を忘れないように児童の調査活動を見守る。
評クリーンセンター見学の活動を通して，「人間関係形成・社会形成能力（コミュニケーションスキル）」「課題対応能力（情報の理解）」「キャリアプランニング能力（働くことの意義や役割の多様）」を評価する。…手だてＢ，Ｅ，Ｇ，Ｉ，Ｌ

第８時～第10時　調査したことをまとめ，発表の準備をする。 (1)　グループ別に問題解決の成果をまとめ，中間発表できるようにする。 ・問題解決の成果 ・グループとしての考察や感想，社会参画の方法 ・中間発表をする内容の選定	★問題解決の内容をどのように分かりやすく伝えるかという観点と，学んだことから社会参画を提案するという観点を与えて準備をさせる。 ★発表（作品を含む）の中に必ず，さまざまな立場の人々の願いや工夫，努力については，必ず触れるように指示する。 ★中間発表は，伝えたい内容の上位５つのみに絞らせる。

評グループで発表の準備をする活動を通して，「人間関係形成・社会形成能力（チームワーク，リーダーシップ）」を評価する。…手だてＡ，Ｌ

施設グループ ○施設や設備を中心としたごみ処理の問題についてまとめる。 ○施設や設備に関わる人々の願いや工夫，努力についてまとめる。 ○学習成果を生かした社会参画について話し合う。	関わる人グループ ○ごみ処理に関わって働いている人々の問題についてまとめる。 ○ごみ処理に関わって働いている人々の願いや努力，工夫についてまとめる。 ○学習の成果を生かした社会参画について話し合う。	ごみ問題グループ ○ごみ問題を中心にまとめる。 ○ごみ問題に関わる人々の願いや努力，工夫についてまとめる。 ○学習の成果を生かした社会参画について話し合う。	リサイクルグループ ○ごみを巡る新しい問題についてまとめる。 ○リサイクルに関わる人々の願いや工夫，努力についてまとめる。 ○学習の成果を生かした社会参画について話し合う。

★社会参画については，本学習の成果を反映したものであることを確認する。
★社会参画の内容に，児童自身の願いが込められるように助言する。
★関わっている人々の願いや工夫，努力については，人々の立場を明確にしておくよう助言する。

(2)　各グループの中間発表を聞き合い，意見交換をする。 ・事実に関する質問や意見 ・考察や感想，社会参画の方法に対する質問や意見	★他のグループの発表内容や指摘事項を参考にし，より説得力のある発表や提言にするための中間発表であることを確認する。 ★人々の願いや努力，工夫と社会参画の提案については，必ず中間発表に含むことを確認す

・まとめ方に関するアドバイスなど		る。	
施設グループ ・ごみステーションの運営の仕組み ・パッカー車のひみつ ・焼却炉のひみつ ・施設を作った人の願い ・僕らの提言	関わる人グループ ・ごみ処理工場で働く人々の仕事内容 ・事務所や役場で働く人々の仕事内容 ・ごみ処理場で働く人々の工夫，努力 ・ごみ処理に関わる人々を応援する内容	ごみ問題グループ ・増え続けるごみ ・ごみの広域処理 ・ごみステーション近くに住む人々の願い ・ごみを減らすための僕らの考え ・未来のごみ工場	リサイクルグループ ・東浦のリサイクルの今 ・私たちにできるリサイクルって何だろう ・クリーンセンターではリサイクルしないのか ・リサイクルに関わる人々の願い ・未来の東浦のリサイクル
○グループごとにそれぞれの表現方法で，伝えたい内容の上位５つを発表する。 ○発表内容についての質問や意見を出し合う。 ○各グループが提案する社会参画が適当かどうか話し合う。			
★発表技法や発表内容の感情的な感想や意見の発言は控えさせて，学習成果の根拠に基づいた意見，感想を出させる。 ★特に，人々の願いや工夫，努力については，同一事象であっても，立場により異なる意見が出されることが予想される。しかし，各グループはそれぞれの立場の利益代表ではないので，感情的にならず，冷静かつ科学的に多様な立場を認め合うことが大切であることを伝える。			
評ごみ処理を巡ってみんなのために働いたり，活動したりしている人々がいることを知り，それらの人々の願いや工夫，努力を共感的に理解することで，「人間関係形成・社会形成能力（他者の個性を理解する力）」「キャリアプランニング能力（学ぶこと・働くことの意義や役割の理解）」を評価する。…手だてＦ，Ｇ，Ｌ **評**学習成果に基づき，ごみ処理の問題について合理的な判断ができる。（社会：思考・判断） …手だてＫ			
(3)　発表会の準備をする。			
施設グループ ○施設と人の関わりの表現を工夫する。	関わる人グループ ○「ごみ処理工場で働く人物語」紙芝居の練習をする。	ごみ問題グループ ○「ごみ問題新聞」の社説に社会参画の提案を書く。	リサイクルグループ ○最新のリサイクル問題について分かりやすくまとめ直す。
★中間発表会で指摘された事項を検討し，発表に向けて成果の仕上げをさせる。 ★発表内容は，事実に基づいた根拠のあるものであるか，グループ内で確認し合わせる。 ★社会参画の提案について，中間発表会の指摘事項を踏まえてグループの意志決定をさせる。			

評学習成果を生かし，自分の立場を明確にして社会参画に関する提案ができる。手だてH，L	
第11時～第12時　発表会で社会参画について話し合う中で，東浦町や日本の将来のごみ処理に関わる問題について考える。 (1)　環境課職員を招き，グループの発表をする。	★各グループの問題解決の成果を共有し，自分たちが社会人となる将来の生活とごみ問題について考えさせる。 ★問題解決の成果をさらに発展させる。
施設グループ ○ごみ処理施設について調べて分かったことを発表し，「ごみ処理施設すごろく」で詳しく紹介する。 ・未来のごみステーションの想像図を描いて，環境課に提案しよう。 関わる人グループ ○ごみ処理に関わって働く人々について，紙芝居形式で発表する。 ・ごみ処理工場で働く人々に感謝と励ましのお手紙を書こう。	ごみ問題グループ ○「ごみ問題新聞」を配布し，説明する。 ・これからもごみ問題に関心をもち続けるよう，教室にごみ問題新聞の切り抜きコーナーを作ろう。 リサイクルグループ ○リサイクル製品などを見せながら，リサイクルの現状や問題を発表する。 ・自分でもできるリサイクルをやってみよう。
(2)　各グループの発表や社会参画への提案を踏まえて，東浦町や日本の将来のごみ処理に関わる問題について考え，話し合う。 (3)　話し合いの成果や社会参画の提案について環境課職員の講評を聞く。 (4)　本単元を振り返り，自己評価をする。	★それぞれの立場や考え方を尊重し合いながら将来の自分たちの生活をよりよくしようとする観点で話し合えるように支援する。 **評**根拠をもって社会参画しようとする。 （社会：関心・意欲・態度）…**手だてK** **評**社会参画の提案の趣旨を理解し，根拠のある意見や感想を発表することができる。 …**手だてK** **評相手の考え方や立場を理解し，自分の意見を正確に伝え社会に参画しようとすることで，「人間関係形成・社会形成能力（他者の個性を理解する力）（他者に働きかける力）」「自己理解・自己管理能力（前向きに考える力）」「キャリアプランニング能力（学ぶこと・働くことの意義や役割の理解）」を評価する。** …**手だてH，I，L**

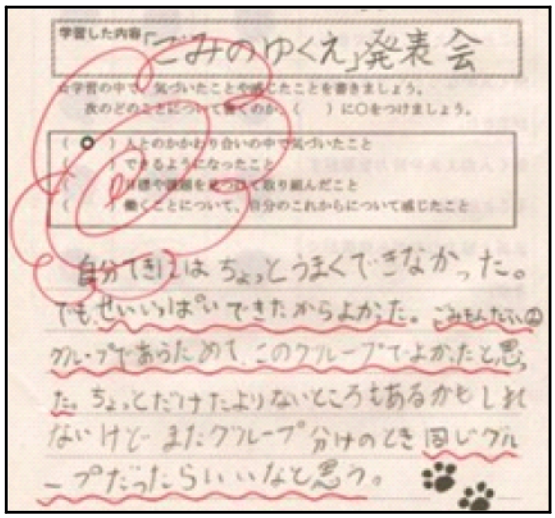
(3) 指導の実際と考察

ア　関わり合いの仕方に関する工夫の手だて

(ｱ) 児童の実態に合わせた児童同士の関わり合いの場を設定する。…手だてＡ，Ｅ

自分の興味のある項目グループ（施設グループ，関わる人グループ，ごみ問題グループ，リサイクルグループ）をつくり，問題解決学習を行った。一人一人が役割意識をもって活動できるように５～６人でグループを構成した。また，各グループでテーマを決め，常に目的意識をもって活動できるようにした。第11時の発表会の振り返りでは，「このグループでよかった」「人と関わり合い，協力することで楽しく分かりやすく発表できた」という感想を書いていた児童がいた【資料20】。

【資料20 振り返りカード】

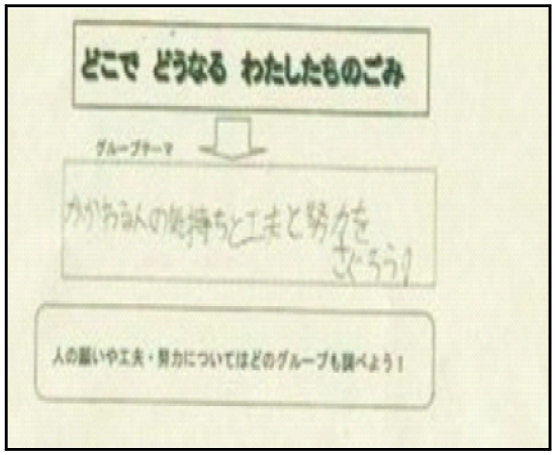


(ｲ) 人に伝える際の支援の仕方を工夫する。

…手だてＤ，Ｅ

グループでテーマを考えさせ，何を伝えたいかを明確にした【資料21】。伝える方法として，ポスターやデジタルコンテンツを使うことは他教科でもやっていたためすぐにできたが，他の方法（紙芝居，劇）もあることを伝えたところ，伝えたい内容に合った方法で発表を工夫することができた【資料22】。また，ノート型パソコン，ＯＨＣ，大型ディスプレイ等を活用し，グループでのプレゼンテーションを効果的に実施できるようにした。発表の際，働く人々の願いや工夫・努力を発表内容の必要項目としたことで，分かりやすくまとめ発表していた【資料23】。

【資料21　グループテーマ決定】



【資料22　紙芝居作成の様子】

【資料23　プレゼンテーション】

【資料24　メモをする様子】

(ｳ) 話を聞く際の支援の仕方を工夫する。

…手だてＥ

第９時の中間発表では，質問や意見を聞きながらワークシートにメモさせた【資料24】。自分の考えを文字に表現し記録することで，発表後の意見交流で自信をもって自分の意見を言えるようにした。

イ　人の役に立つことの必要性を実感できる授業，活動を意図的に組むための手だて

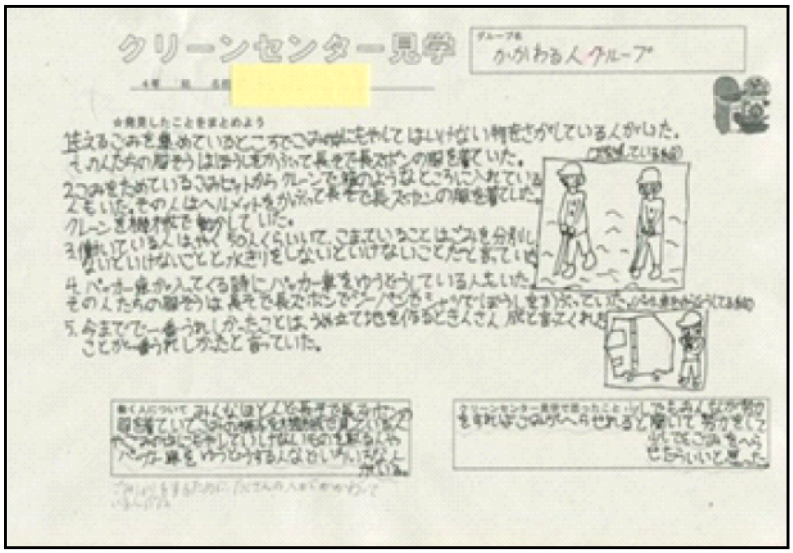
(ｱ) 働くことの意義や多様な役割を理解させるため，地域との連携を図る。

…手だてＢ，Ｆ，Ｇ

役場の環境課の方や，地域にあるリサイクル工場で働いている方から話を聞くことで，働くことの意義や役割を身近な問題として考えることができるようにした【資料25】。

第５時の東浦町環境課の方から話を聞く活動では，環境課の職員という立場で，その願いや工夫・努力について直に話を聞いた。児童は，具体的な人物と直接触れ合い，「環境課Ａさんは，自分たちのために働いてくれている」ということを実感することができた。

【資料25　話を聞いてまとめたもの】



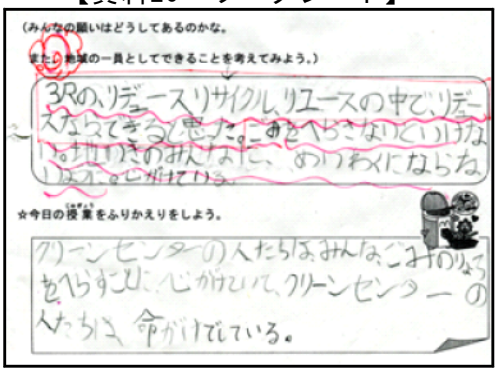
(ｲ) 社会参画することで地域の一員であることを意識させる。…手だてＨ

第９時の地域の一員としてできることを考える場面では，一人一人に机間指導を行い，よい気付きに丸を付けていった【資料26】。社会参画について話し合うところでは，そのプリントを見ながら自信をもって発表することができた。

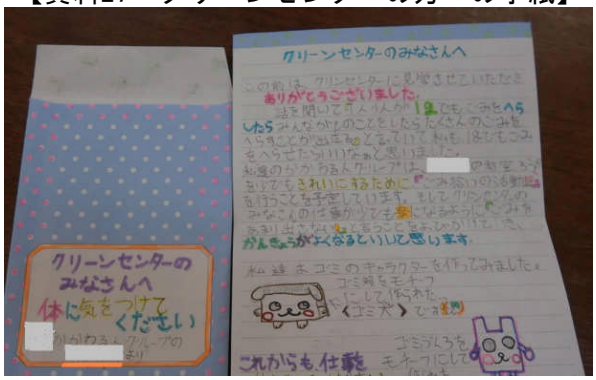
自分たちのできることを，地域社会等に提案や提言することで，地域の一員として社会参画することができると考えた【資料27】。

第11時の発表会では，自分たちで考えた具体的な提案が出た。学習でお世話になった環境課職員，リサイクル業者職員も熱心に耳を傾けてくれたことで，自己有用感を大いに高めることにつながった。

【資料26　ワークシート】



【資料27　クリーンセンターの方への手紙】



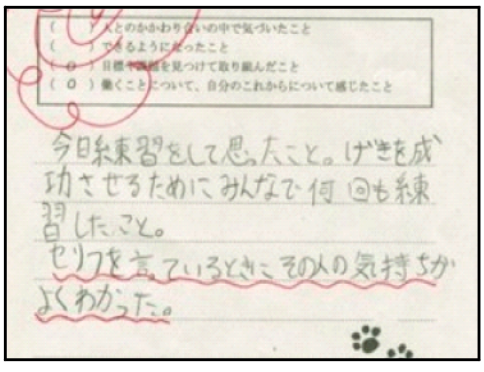
ウ　振り返りの仕方に関する工夫の手だて

(ｱ) 活動後の振り返りプリントを工夫する。

…手だてＩ

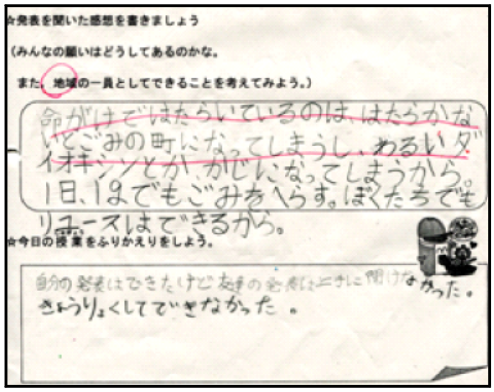
キャリア教育の４領域を意識した振り返りプリントを作成したことで，学習の中でどの観点について学んだのかを自分でも分かるようにした【資料28】。そのことにより自己理解が進んだ。こうした振り返りによって，客観的・相対的に自分の考えを認識するとともに，自己を高めようとすることができていた。

【資料28　振り返りプリント】



児童Ｂ･･･学習への取組は意欲的である。しかし，自己中心的で友達の意見に耳を傾けようとしない面がある。また，グループで協力して活動しようという気持ちもなかなかもてない。
手だて･･･児童一人一人の考えや気付きを全体に伝える場や，個々のよい点を認め合う場を設ける。

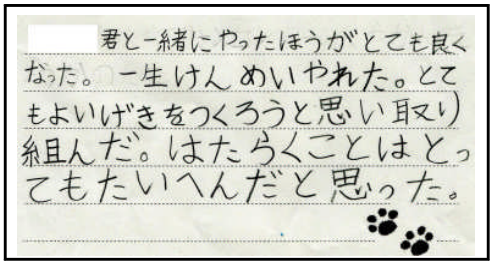
【資料29　第９時の児童Ｂの振り返り】



児童Ｂは，第９時の段階で，振り返りカードに「１日１ｇでもごみを減らす。僕たちでもリユースはできるから」と記述しており，学習に対する前向きな姿勢が見られた。

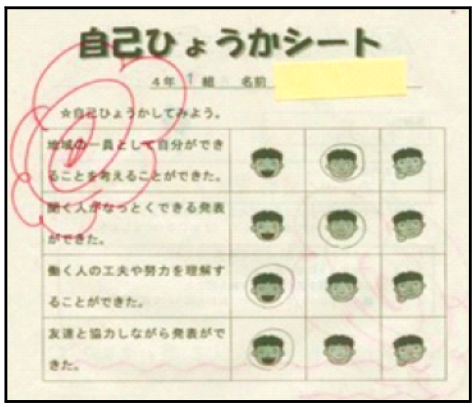
しかし，「友達の発表は上手に聞けなかった」と書いており，友達と協力しようという気持ちが弱いことがうかがえる【資料29】。

【資料30　第11時の児童Ｂの振り返り】



第11時の振り返りで，児童Ｂは，「○○君と一緒にやったほうがとても良くなった」と書いている。また，「とてもよいげきをつくろうと思い取り組んだ」と書いており，友達と一緒に取り組むことのよさやチームワークの大切さに気付いたことがうかがえる【資料30】。

【資料31　自己評価シート】



(ｲ)　３段階の自己評価をする。…手だてⅠ，Ｊ

４年生の発達段階に合った自己評価シート【資料31】を作成し，４項目を３段階で評価させた。４項目については，「人間関係形成・社会形成能力」「キャリアプランニング能力」を意識したものにした。

(4)　平成24年度の成果と課題

ア　成果

(ｱ)　人間関係形成・社会形成能力

一人一人が役割意識をもって活動できるように，５～６人でグループを構成した。第２時の調査内容や方法，調べたことの表現方法について話し合う場では，友達の意見に耳を傾けることができない児童もいた。しかし，少人数で目的をもって話し合わせることで，友達の思いを尊重することができるようになってきた。また，児童の振り返りにも「人と関わり合う中でチームワークの大切さに気付いた」と書いている児童がいた。それらのことや「児童アンケート」①（生路小p. 23【資料32】）から，「人間関係形成・社会会形成能力」が高まっていることが分かった。

(ｲ)　キャリアプランニング能力

地域で働く人々から話を聞くことで，働くことの意義や役割を身近な問題として考えることができた。そして，地域の一員としてできることを考え，社会参画の充実へと向かわせることができた。このことと「児童アンケート」②（生路小p. 23【資料32】）から「キャリアプランニング能力」が高まっていることが分かった。

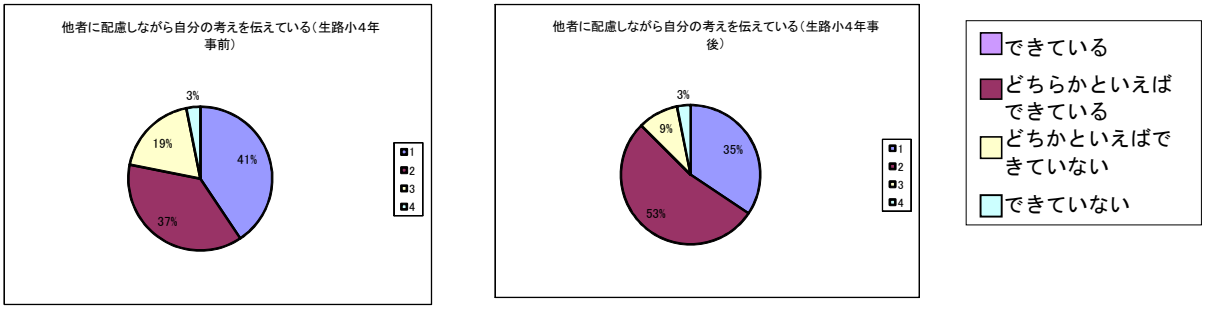
(ｳ)　キャリアカレンダー

本年度は，キャリアカレンダーを再度検討し（生路小p. 26【資料34】），キャリア教育の４能力と教科内容を分かりやすく整理した。また，「人間関係形成・社会形成能力」と「キャリアプランニング能力」に重きを置いて作成した。その結果，教職員のキャリア教育に対する理解が高まったことが，「H24職員アンケート」①～⑤（生路小p. 23，24【資料33】）からも分かった。

【資料32 「児童アンケート」結果】

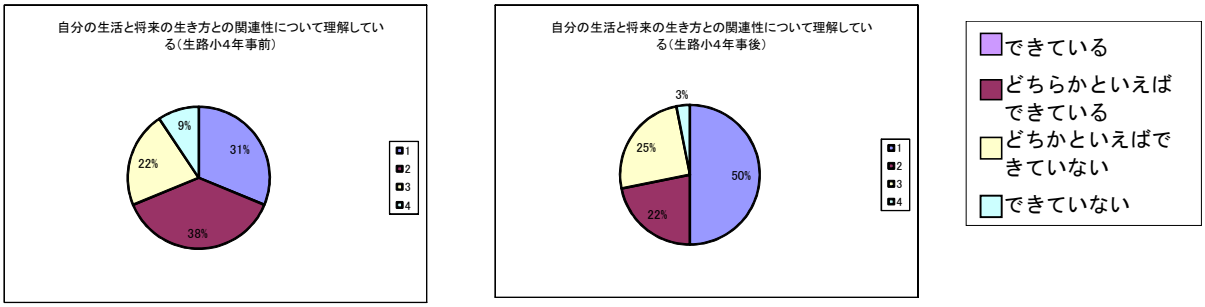
① 他者に配慮しながら自分の考えを伝えている。

＜事前＞ ＜事後＞



② 自分の生活と将来の生き方との関連性について理解している。

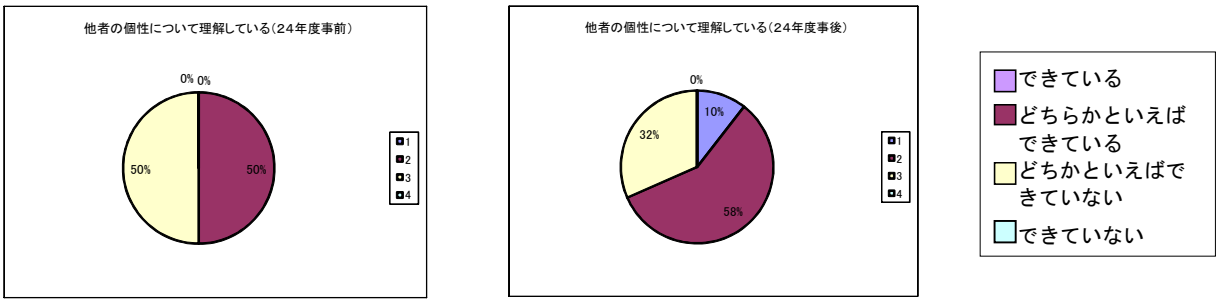
＜事前＞ ＜事後＞



【資料33 「H24職員アンケート」結果】

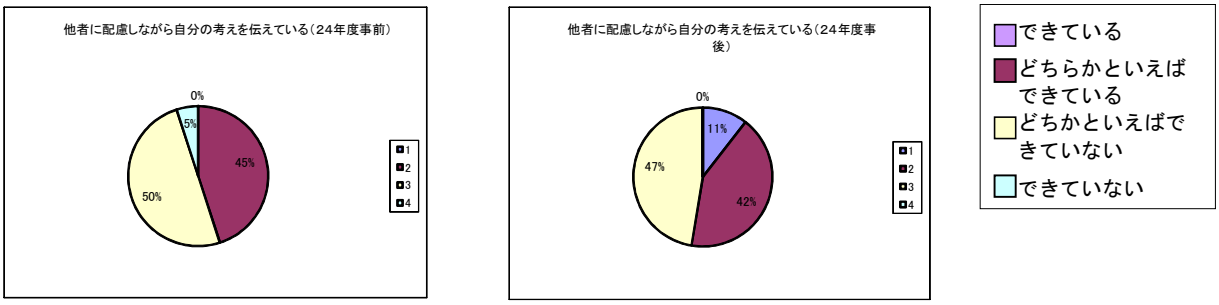
① 他者に個性について理解している。

＜事前＞ ＜事後＞



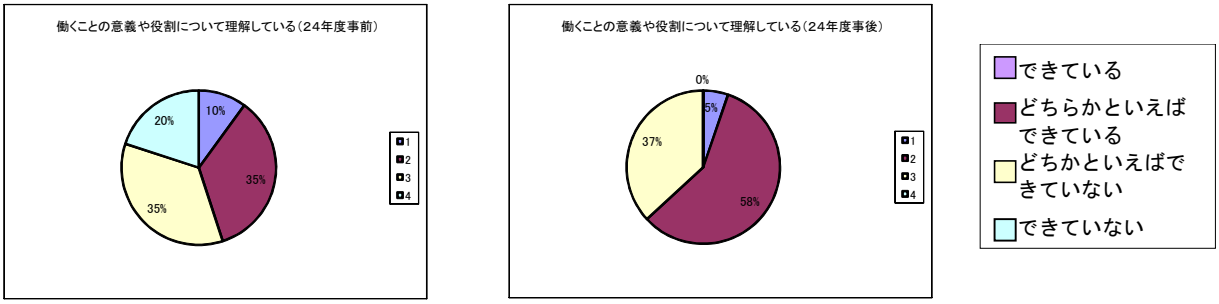
② 他者に配慮しながら自分の考えを伝えている。

＜事前＞ ＜事後＞



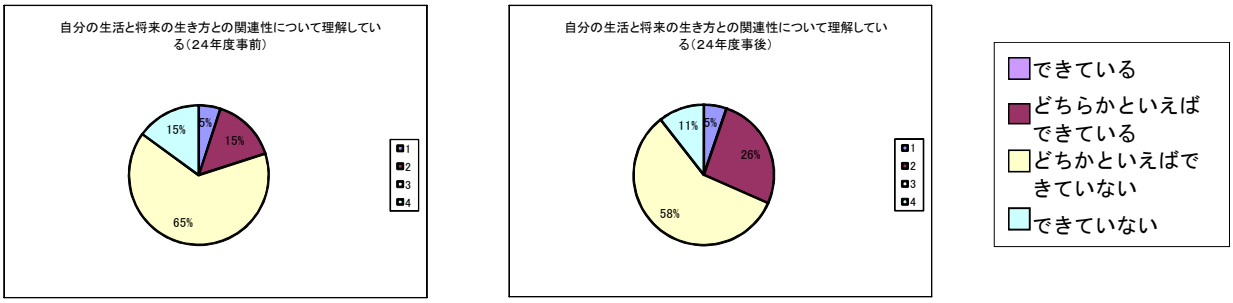
③　働くことの意義や役割について理解している。

＜事前＞　　＜事後＞



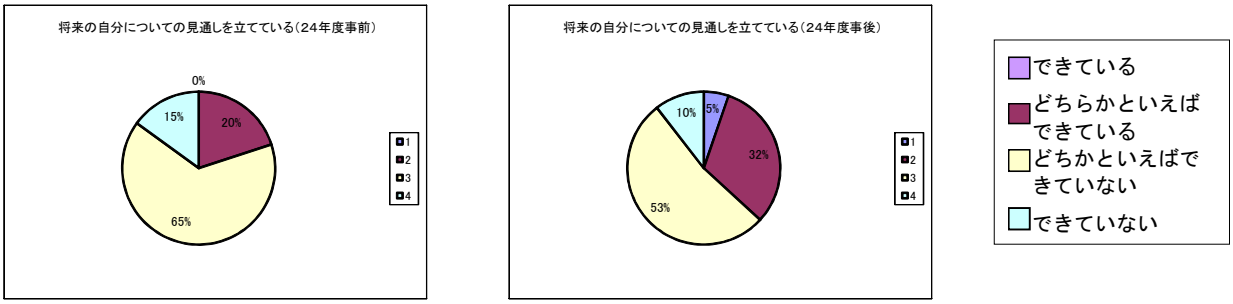
④　自分の生活と将来の生き方との関連性について理解している。

＜事前＞　　＜事後＞



⑤　将来の自分についての見通しを立てている。

＜事前＞　　＜事後＞



イ　今後の課題

今後の課題として，次の３点が挙げられる。

(ｱ) 学習活動だけでなく，日常生活においても友達に対して思いやりの気持ちをもち，助け合って過ごせるための手だてについて考えたい。

(ｲ) 本実践では，グループの中で役割を分担し活動する場面があったが，自分の役割の大切さを更に実感できる方法について模索していきたい。

(ｳ) 振り返りプリントに記入したことを生かしながら，子どもが更に自信をもち，友達や地域の人たちとの関わりを大切にしながら活動できる方向へ改善できるように努めていきたい。

7　おわりに

教科の授業の中に，キャリア教育のねらいを盛り込むことで，キャリア教育の目標としている４能

力を高められることが分かった。また，社会科や生活科において，地域の方と連携を図って授業を行うことで，子どもたち自身も働く人々を身近に感じることができた。それは，教科のねらいの達成のみならず，キャリア教育の４能力の育成にも効果的な活動であることが分かった。また，学校だけでなく地域で子どもたちを育てていく基盤の形成につながると考えられる。しかし，学習で学んだことを実践する場が少ないため，実践できる場と時間の確保が必要であると実感した。

実践授業で取り上げた学習内容は，従来から小学校で実践されてきた各教科等の学習である。それをキャリア教育の視点から再整理し，関連を踏まえて単元構成した。その中心を貫くキャリア教育のテーマを明確にすることで，指導者はもちろん子ども自身も学ぶ意味・価値を捉え，生き方を探る学習を意識することができた。さらに，このことを学校でのキャリア教育推進に役立てるためには，一つ一つの実践をどのように評価し，教育活動全体の中でどのように結び付けるかを示す必要があると考える。

小学校におけるキャリア教育とは，「生きる力の育成」そのものであると感じる。小学校では担任が児童の一日の活動を継続して見守ることができる。このことは，児童のキャリア発達をきめ細かく見取る上で強みである。小学校の教師がこのことを意識して，キャリア教育の視点をもって各教科等の授業を行えば，大きな成果が上がると考える。

平成24年度　『キャリア教育の実施内容』

生路小学校

【資料34】

1年

期	1学期				2学期								3学期					
月	4	5	6		7	9		10		11		12	1	2			3	
教科・内容	＜能力B＞ 学活「学級組織作り」	＜能力A＞ 生路ンピック	＜能力B＞ 教科の実践	＜能力A＞ 道徳の授業実践	＜能力A＞ 学活 「七夕集会をしよう」	＜能力B＞ 学級組織作り	＜能力D＞ 福祉実践教室	＜能力A＞ 国語「声に出してよもう」	＜能力A＞ 道徳 「えんそく」	＜能力A＞ 音楽「音楽ランド」	＜能力A＞ 生活「あきとあそぼう」	＜能力A＞ 学習フェスタ	＜能力A＞ 学活「クリスマス集会をしよう」	＜能力A＞ 生活「ふゆとあそぼう」	＜能力A＞ 体育「おにあそび」	＜能力A＞ 音楽「みんなで音楽パーティ」	＜能力B＞ 道徳「かぼちゃのつる」	＜能力A＞ 6年生を送る会	＜能力D＞ 国語「思い出して書こう」
	係や当番の決定，学級でのルールを確認する。	集団行動を通して，体力・気力の充実を図る。	生活 「雨の日の過ごし方」「児童館への見学」 体育「水遊び」	「ありがとう」「せいりせいとん」	みんなの願い事を発表する。	福祉に関わること「手話ダンス」		動作化を取り入れたり，分担読みをして会話を楽しむ。	仲よし，助け合い。	まねっこ歌で身体表現を楽しむ。	あきの実や草花を使って遊ぶ。	みんなで協力して活動する。	みんなで協力しよう。	昔の遊びを体験しよう。	ルールを工夫してみんなで楽しく遊ぶ。	楽器の音を聴き合いながら演奏しよう。	節度，自制，自立	いろいろな場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す。	1年間を振り返る。

2年

期	1学期					2学期							3学期					
月	4	5	6		7	9		10		11		12	1	2			3	
教科・内容	＜能力B＞ 学活 「学級組織作り」	＜能力A＞ 生路ンピック	＜能力B＞ 学活「チャイムの合図を守ろう」	＜能力A＞ 教科の実践	＜能力A＞ 教科の実践	＜能力B＞ 学級組織作り	＜能力D＞ 福祉実践教室	＜能力A＞ 教科の実践	＜能力B＞ 道徳 「ぶらんこ」	＜能力D＞ 生活「町で見つけたよ」	＜能力C＞ 図工「つくってあそぼう」	＜能力A＞ 学習フェスタ	＜能力B＞ 道徳 「よこはいり」	＜能力A＞ 道徳「おじさんこんにちは」	＜能力A＞ 体育「おにあそび」	＜能力A＞ 音楽「ようすを音楽で」	＜能力C＞ 算数「どんな計算になるかな」	＜能力A＞ 6年生を送る会	＜能力D＞ 国語「文集を作ろう」
	係や当番の決定，学級でのルールを確認する。	集団行動を通して，体力・気力の充実を図る。	「ポケット二つ」「ぼくにできること」	国語「すきなもの なあに」 体育「二人組になってリレーをしよう」	国語「うれしいことば」 体育「みんなでリレーをしよう」	福祉に関わること「手話ダンス」		国語 「音読げきをしよう」	規則の尊重・公徳心を育てる。	働く人々の気持ちを考えよう。	身の回りにある材料を使ってつくろう。	みんなで協力して活動する。	正しいことは勇気をもってやることの大切さを知る。	礼儀を育てる。	ルールを工夫してみんなで楽しく遊ぶ。	楽器の音を聴き合いながら演奏しよう。	学んだことを生活の場面で生かす。	いろいろな場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す。	1年間を振り返る。

3年

期	1学期						2学期								3学期					
月	4		5			6		7	9			10		11		12	1	2		3
教科・内容	＜能力B＞ 学活「学級組織作り」	＜能力D＞ 総合「生路大好き」	＜能力A＞ 総合「いもを育てよう」	＜能力A＞ 国語「しっもんしたり，かんそうを言ったりしよう」	＜能力A＞ 生路ンピック	＜能力D＞ 総合 「生路大好き」	＜能力A＞ 体育「走・跳の運動（リレー）」	＜能力A＞ 総合 「いもを育てよう」	＜能力B＞ 学級組織作り	＜能力D＞ 福祉実践教室 「ガイドヘルプ」体験を通して，視覚障害者に対する理解を深める。	＜能力D＞ 社会「店で働く人々の仕事」	＜能力A＞ 社会科「農家で働く人々」	＜能力D＞ 道徳「お手伝い」	＜能力D＞ 道徳「パンやのしごと」	＜能力A＞ 体育「ゴール型ゲーム」	＜能力A＞ 学習フェスタ	＜能力B＞ 学活「こづかいの使い方を考えよう」	＜能力A＞ 総合「お礼の手紙を書こう」	＜能力A＞ 学活「お世話になった方に感謝しよう」	＜能力D＞ 学活「相手の気持ちを考えて」	＜能力A＞ 6年生を送る会	＜能力C＞ 算数「よみとる算数」
	係や当番の決定，学級でのルールを確認する。	生路の人々の生活に目を向ける。	ペアで芋を植える。	よい話し手，聞き手になるためにみんなで話し合おう。	集団行動通して，体力・気力の充実を図る。	生路の人々の生活に目を向ける。	グループで話し合ってリレーを楽しむ。	ペアで芋畑の水やりや草取りをする。			地域の店で働く人に目を向ける。	地域の農家の人に目を向ける。	働くことの大切さを知る。	働くことの喜びを知る。	チームでボートボールのゲームをする。	みんなで協力して活動する。	生活の場で生かせるようにする。	お世話になった方に手紙を書く。	お世話になった方を招待する。	気持ちのよい言葉遣いにする。	いろいろな場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す。	身近な問題について児童間で交換させて解決する。

4年

期	1学期						2学期							3学期					
月	4	5	6		7		9		10		11		12	1	2		3	
教科・内容	＜能力B＞ 学活「学級組織作り」「委員会・クラブ」	＜能力A＞ 生路ンピック	＜能力B＞ 道徳「力持ちの新助さん」	＜能力A＞ 音楽 ペア合唱	＜能力D＞ 社会 「ごみのゆくえ」	＜能力B＞ 道徳「たのまれた仕事」	＜能力C＞ 国語「一つの花」	＜能力B＞ 学級組織作り	＜能力C＞ 社会「安全なくらし」	＜能力D＞ 福祉実践教室	＜能力A＞ 道徳 「あめ玉」	＜能力C＞ 総合「わたしたちの町って安全？」	＜能力C＞ 国語「仕事リーフレット」を作ろう	＜能力A＞ 学習フェスタ	＜能力A＞ 道徳 「ひそひそばなし」	＜能力D＞ 総合「二分の一成人式をしよう」	＜能力D＞ 道徳フレンズ キャラバン隊	＜能力A＞ 学活「友達のよさを見つけよう」	＜能力A＞ 6年生を送る会	＜能力C＞ 道徳「あなたはどう思う」
	係や当番の決定，学級でのルールを確認する。 委員会・クラブの所属を決定する。	集団行動を通して，体力・気力の充実を図る。	自分の特徴に気付き，よい所を伸ばそうとする。	ペアの2年生に歌を教える。	クリーンセンターの見学。地域の一員としてごみ問題に関心をもつ。	働くことの尊さを知り，進んで仕事に励もうとする。	「平和」な時代についてみんなで話し合う。		愛知県警察本部を見学する。	車椅子体験	社会のきまりを守り，公共物を大切にする気持ちを高める。	自分の家，学校，地域の防犯・防災対策について調べ，安全について考える。	インタビューや取材の仕方を理解する。	みんなで協力して活動する。	お互いを理解し，信頼して生活しようとする。	今まで育ててくれた家族に感謝し，今の自分を見つめ，将来に夢をもつ。	障害をもつ人への理解を深める。	友達のよい所を見付け，自分の長所に気付く。	いろいろな場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す。	正しい情報モラルを身に付ける。

5年

期	1学期					2学期							3学期					
月	4	5	6		7	9		10		11		12	1	2			3	
教科・内容	＜能力B＞ 学活 「学級組織作り」	＜能力A＞ 生路ンピック	＜能力D＞ 家庭科「見つめよう家庭生活」	＜能力A＞ 学活「友達は宝物」	＜能力C＞ 総合「自然の中で学ぼう」	＜能力B＞ 学級組織作り	＜能力D＞ 福祉実践教室	＜能力B＞ 国語「豊かな言葉のつかいてになるためには」	＜能力B＞ 学活「交通ルールを守ろう」	＜能力A＞ 学活「言葉遣いを考えよう」	＜能力A＞ 外国語「外来語を知ろう」	＜能力A＞ 学習フェスタ	＜能力D＞ 学活「生路っ子議会の議題を話し合おう」	＜能力C＞ 社会「情報科社会を生きる」	＜能力A＞ 理科「人の誕生」	＜能力A＞ 音楽「心を合わせて」	＜能力B＞ 道徳「持ち寄り文庫」	＜能力A＞ 6年生を送る会	＜能力A＞ 学活 「集会をしよう」
	係や当番の決定，学級でのルールを確認する。	集団行動を通して，体力・気力の充実を図る。	家族に協力しようとする。	友達の大切さを知る。	林間学校		点字体験	自分の考えをまとめて討論する。	規則の尊重・公徳心を育てる。	思いやりのある言葉遣いをする。	身近な外来語に興味をもつ。	みんなで協力して活動する。	学校生活をよりよいものにする。	情報科社会について考える。	生命を尊重しようとする。	友達と協力して音楽活動に取り組む。	自分の役割を自覚する。	いろいろな場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す。	○○集会をする。

6年

期	1学期					2学期						3学期					
月	4	5	6		7	9		10		11	12	1	2			3	
教科・内容	＜能力B＞ 学活 「学級組織作り」	＜能力A＞ 生路ンピック	＜能力B＞ 国語 「討論会をしよう」	＜能力C＞ 総合「奈良の歴史を知ろう」	＜能力C＞ 家庭科「くふうしようさわやかな生活」	＜能力B＞ 学級組織作り	＜能力D＞ 福祉実践教室	＜能力D＞ 外国語「道案内をしよう」	＜能力B＞ 体育・保健「病気の予防」	＜能力A＞ 総合 学習フェスタ「友情」	＜能力C＞ 家庭科「まかせてね今日の食事」	＜能力C＞ 社会「わたしたちの願いと政治の働き」	＜能力D＞ 道徳「広い心で世界の人々と」	＜能力A＞ 音楽「卒業に向けて」	＜能力D＞ 総合「母校よありがとう」	＜能力C＞ 理科「生き物と環境」	＜能力D＞ 総合「6年間の成長をふり返ろう」
	係や当番の決定，学級でのルールを確認する。	集団行動を通して，体力・気力の充実を図る。	相手の意図を聞き取り，自分の主張を伝える能力を育てる。	情報を処理・選択し計画立案の能力を育てる。	節電を意識した夏の快適な生活を工夫する力を育てる。		高齢者疑似体験	英語で簡単な道案内ができる。	健康的な生活習慣について考える。	友情について考え，発表する。	自分で簡単な調理ができる能力を育てる。	日本の政治や経済の仕組みについて知る。	世界の発展に貢献しようとする気持ちを育てる。	合唱の楽しさ・心地よさを味わう。	感謝の気持ちと将来への希望をもたせる。	人間と自然環境とのあり方を考える。	互いの成長やがんばりを認め合い，自他のよさに気付き，振り返る。

A　人間関係形成・社会形成能力

B　自己理解・自己管理能力

C　課題対応能力

D　キャリアプランニング能力